

保護者の皆様へ

先日は、教科書配布・電話連絡・家庭訪問等にご理解ご協力いただきありがとうございました。

一人ひとりの保護者の方とじっくりお話させていただけたわけではありませんが、「学習や行事等が今後どうなっていくのかについての不安」や「家での生活リズムをどうしていったらよいのかという相談」などの声を寄せていただきました。

前代未聞のことで、今後のことはまだまだ不透明な部分が多いのが正直なところですが、だからこそ我々担任としては、子どもたちが一日でも早く安心して学校に戻ってこられるように、今できることに全力で取り組んでいるところです。

下に「連絡事項」と「子どもたちへのメッセージ」を載せています。

一緒にお読み頂き、子どもたちの休校中の生活に少しでも役立てて頂ければと思います。最後になりましたが、保護者の皆様も相当疲れがたまっておられると想像します。くれぐれもご自愛ください。

連絡事項：

・先日お配りした学年便りに、新しい図工の教科書を配布すると書かれていましたが、間違いでした。図工の教科書は、5年生の時の物を使用します。訂正して、お詫びします。

・提出する宿題の確認

① 計算ドリル ② ③ → ドリルノートにする。

② 漢字ドリル ② ~ ②⑥ → 漢字ドリルにする。

※とめ・はね・はらいなどを意識して、一つ一つていねいに。

※⑦ ⑧などの本来漢字ノートにやる分は、やりません。

③ ぐんぐんプリント → 生活リズムを保つために毎日記録します。

④ 自己紹介カード → 顔や体もかく。色えんぴつで色もぬります。

6年生のみなさんへ

どのように過ごしていますか？運動・学習・遊びの時間をバランスよくとれていますか？みなさんと電話や顔を見て話せて、先生たちはとっても安心しましたし、嬉しかったです。

先生たちは、学校再開後にみなさんといいいスタートがきれるように、いろいろな準備を進めています。その一つが教材研究。（簡単にいうと授業の準備）みなさんが興味をもって学習に取り組めるように、教科書や本を見ながら研究しています。

さて、休校中の過ごし方として、学校からだされた課題に丁寧に取り組むことは大切なのですが、みなさんは、来年中学生になります。もし余裕があるなら、さらにレベルの高い学習に取り組んでみてはどうでしょうか？なぜそのようなことを言うかという、中学生には

「自分で課題を発見し、解決していく」力が必要だからです。

では、どんなことに取り組めばいいのか。社会科を例にして紹介します。実は休校の原因となっている憎きコロナウイルスから社会の勉強につなげることができるのです。

6年生の社会は、「ともに生きる暮らしと政治」という単元から始まります。コロナが流行している今、政治が果たす役割がより重要になってきているのは、みなさんも感じていることでしょう。わたしたちの生活を守るためにいろいろなルールをつくり、実行するのが政治の役割です。

安倍総理が「緊急事態宣言」を出したことは知っての通りだと思いますが、その宣言は、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」（うーん 難しい名前・・・）という法律に基づいてだされています。ここまでくれば、実にいろいろな疑問が生まれてきませんか？

例えば、「法律はだれ（どこ）がつくるのか？」「法律はいくつあるのか？」「他にどんな法律があるの？」など・・・

このような疑問は、インターネットや本などの他、教科書などを使っても調べることができます。今あげたのは一例で、みなさんの発想力をもってすれば、他にもたくさんの課題をうみだすことが可能でしょう。

毎日のようにでてくるコロナウイルスの陽性患者数のグラフは、算数で学習した棒グラフです。最近では、出歩く人が何%減少したかという数字がよくでてきます。これも5年生で学習した割合の学習と関係していますね。

コロナウイルスに関するいろいろなニュースや記事を目にしますが、聞き手や読み手が分かりやすいように伝え方にいろいろな工夫がされています。これは国語の学習につながります。

このような時だからこそ、「自分で課題を発見し、解決していく」力をつけていくチャンスです。いつもより少しアンテナを広げ、自分の興味を学習につなげ、学びを深めてください。（その学びは、自主学習ノートにまとめておくのもよいですね。）学校再開後、みなさんといろいろな話ができるのを楽しみにしています。